

Spyder4™ TV HD

プロのノウハウと精度が手軽に手に入る

購入したテレビやプロジェクターなどの映像は、一般的なユーザーが見て「キレイ」と感じるように「化粧」が施されています。例えば黒を沈めてコントラスト感の演出・・・より明るく色鮮やかに・・・ところが、制作者の意図を曲げる原因となっているのも事実で、ホームシアターファンや映画ファンがじっくりと作品を鑑賞するには不向きです。では、制作基準に近づく為には、どうすれば良いのでしょうか？

過去、調整用パターンを表示し、目視で調整する方法が実践されてきました。

感覚のみに頼るよりはベターですが、作業には知識と経験が必要な上に、精度にも限界がありました。

そこで今、世界的に注目されているのが、測定による科学的な調整です。曖昧さが排除され、精度と信頼性の高い方法と言えます。

Spyder4 TV HD は、高精度なセンサーでの測定に加え、ウィザード形式で作業が進められるので、映像調整が初めてのユーザーにも使い易いのがポイントです。

調整内容については、今までプロも目視で行ってきた黒の明るさ調整が測定によって行え、実際、その調整結果も的確です。この調整により、できる限り黒が沈んでコントラストを高めつつ、黒潰れの無い暗部のディテールが豊かな映像が手に入ります。このように、プロも含めた熟練者でさえも難しい調整が、初心者でも手軽に同等の結果が引き出せるのが、Spyder4 TV HD 最大の魅力と言えます。

Spyder4 TV HD ではその他、制作基準の 6500K に最も近い色温度設定や色の濃さ、バランスの良い色合いを見つける作業が、「測定」という科学的な方法で行えるのです。

映像装置を購入したら、まず Spyder4 TV HD で制作基準に近づけてみてください。

その自然な映像美から、今まで見えなかった制作者の意図が理解できるかもしれません。

また、映像装置は使用時間と共に光源が劣化して、色味が変化します。毎日見ていると、歯ブラシの消耗具合のように、その変化に気が付きにくいものですが、知らず知らずのうちに、色味が大きく変化してしまっている心配もあります。

せっかく手に入れた映像装置の画質力を最大限に引き出す上でも、キャリブレーションをお勧めします。また、キャリブレーションしていない高価な映像装置よりも、定期的にキャリブレーションしている安価な装置の方が良い画を出せる可能性も見逃せません。



鴻池賢三氏

オーディオ・ビジュアル評論家 / VGP 審査員
ISF Level 2 認定ビデオキャリブレーター
THX Level 2 認定ホームシアターデザイナー